

たすきをつなぎ 24時間頑張ろう

名古屋・名城公園

リレーマラソン

第二回二十四時間リレーマラソンINN名城公園（中日新聞社後援）が十五日正午、名古屋市北区の名城公園で始まった。写真。十六日の正午のゴールまで、マラソン愛好者のチームが走った距離を競い合う。

同公園を活動拠点にしているチーム同士の交流を目的に、昨年始まった。今年は一・三キロの同公園ランニング周回コースを一周することに、十



円が障害者の支援活動に寄付されるチャリティ事業も行つ。

県内を中心に十三チーム二百六十人が参加。年齢層は二十代から七十三歳と幅広い。十四―二十八人で構成された各チームのランナーが、一人最

低一周以上走るというルールで、交代に休憩をとって走り続ける。この日、開会式中は降っていた小雨もスタート時にはやみ、ランナーらは号砲とともに走り出した。初出場の「なごや楽走会」

は、十八人中七人が視覚障害者のチーム。月に二回マラソン大会に参加しており、リレーマラソンの出場経験もあるという。「二十四時間たすきをつなぎ」とメンバーは意気込んでいた。